

平成30年度 「泉佐野市ふるさと応援寄附金」実績報告書

～心温まるご寄附ありがとうございました～



泉 佐 野 市

1. 平成 30 年度「泉佐野市ふるさと応援寄附」寄附状況について

《 寄附合計 49,752,906,465 円 》

(1) 事業目的別内訳

事業目的		件数	金額
①まなびプロジェクト（教育施設等の公共施設整備）	公共施設整備基金	1,992,988 件	39,037,864,259 円
⑥こどもプロジェクト（子育て支援）			
⑬メディカルプロジェクト（医療環境整備）			
⑭関空アイスアリーナプロジェクト （スケートリンクを核としたまちづくり事業）			
⑮市長におまかせ			
⑯その他プロジェクト			
公共施設の整備を図るための経費			
③ともにいきるプロジェクト	福祉基金	59,501 件	1,239,166,334 円
社会福祉活動の推進に要する経費			
④人づくりプロジェクト	国際交流振興基金	37,154 件	749,264,769 円
国際交流の振興を図るための経費			
⑤にぎわいづくりプロジェクト	地域経済振興基金	50,811 件	1,071,575,166 円
*特に指定しない			
*泉佐野郷土芸能の集い			
*ENJOYりんくう（りんくう花火）			
*ザ・まつり in Izumisano			
*泉州YOSAKOI 糸えじゃないか祭り			
市や市民団体が開催するイベントなど「にぎわいづくり」の支援			
⑦地域のアートプロジェクト	芸術文化振興基金	15,601 件	326,131,000 円
芸術及び文化の振興のための経費			
⑧クリーンプロジェクト	環境衛生事業基金	62,436 件	1,233,550,166 円
環境衛生事業の推進や環境美化啓発等のための経費			
⑨ふるさとプロジェクト	ふるさと文化資料 基金	32,308 件	618,723,500 円
歴史民俗資料等の文化資料を取得し、保存又は活用のための経費			
②未来を創る教育プロジェクト	教育振興基金	248,429 件	5,341,531,461 円
⑩本の泉プロジェクト			
⑫スポーツ振興プロジェクト			
②学力・体力向上推進、いじめ・不登校対策、奨学金貸付の経費 ⑩児童書・絵本・一般書・実用書などの図書資料充実のための経費 ⑫スポーツ振興やスポーツを通じた交流の促進、 スポーツに親しむきっかけづくりのための経費			
⑪わがまちプロジェクト	自治振興基金	5,879 件	107,040,810 円
地域における自治活動の振興と住民自治の促進のための経費			

事業目的	件数	金額
ガバメントクラウドファンディング	204 件	25,009,000 円
繋グランピング～地域資源がにつながる場～		
世界初の「裏表のない」スマート肌着～肌着革命で泉州繊維産業を復興～		
地域と空き家の価値を再創生 泉佐野×ゲストハウス「さのさん家を作ろう!」		
ウガンダ共和国支援	64 件	780,000 円
オーガニックコットン産業の6次産業化をめざす取組み支援		
代理寄附	156 件	2,270,000 円
平成30年7月豪雨（対象自治体：高知県宿毛市）		
合 計	2,505,531 件	49,752,906,465 円

2. 寄附金の使途について

平成30年度中に皆様から頂いた寄附金は、平成31年3月31日付で各基金へ積み立てを行い、令和元年度に寄附財源を予算化し、ご寄附いただいた皆さまのご希望に沿った事業の財源として有効に活用させていただきました。

なお、事業詳細については、「泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書」をご覧ください。
今後も、本市のまちづくりの重要な手段のひとつとして、引き続きご寄附いただいた皆さまのご希望に沿えるよう事業の展開を図ってまいります。

3. ご寄附いただいた皆さまへ

5千円以上の寄附をいただいた方に、感謝の気持ちとして、本市の特産品や魅力を感じられる品物からお選びいただき贈呈いたしました。

今後とも、皆さまの温かいご支援を賜りますとともに、益々のご健勝をお祈り申し上げます。

4. 泉佐野市ふるさと応援寄附金のお問合せ先・申込先

泉佐野市ふるさと納税業務係

〒598-0012

大阪府泉佐野市高松東1丁目10-37 泉佐野センタービル14F

【電話】072-468-6120

【ファックス】050-3488-2033

【Eメール】furusatotax@city-izumisano.jp

【ホームページ】

<https://furusato-izumisano.jp/>

<http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/seisaku/menu/furusato/index.html>

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	①まなびプロジェクト（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	小学校施設整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な教育環境の整備を行います。 （事業の内容） 市内各小学校の設備の新設、老朽化の著しい個所や危険度及び緊急度の高い営繕工事を行います。
運用の成果	令和元年度は、老朽化の著しい個所及び緊急度の高い個所の修理を行い、安全で安心な教育環境整備を行いました ○日根野小学校鉄棒設置業務委託 ○長南小学校のぼり棒設置業務委託 ○長坂小学校ブランコ設置業務委託 ほか   <日根野小学校鉄棒> <長南小学校のぼり棒>  <長坂小学校ブランコ>
事業費	11,971,000円
運用した寄附金額	11,857,000円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	①まなびプロジェクト（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	中学校施設整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な教育環境の整備を行います。 （事業の内容） 市内各中学校の設備の新設、老朽化の著しい個所や危険度及び緊急度の高い営繕工事を行います。
運用の成果	令和元年度は、老朽化の著しい個所及び緊急度の高い個所の修理を行い、安全で安心な教育環境整備を行いました ○第三中学校鉄棒設置業務委託 ○第三中学校空調設備設置工事 ほか <第三中学校空調設備> <第三中学校鉄棒>
事業費	13,430,000円
運用した寄附金額	4,421,000円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	①まなびプロジェクト（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	通学路防犯カメラ設置事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な教育環境の整備を行います。 （事業の内容） 通学途上でのより一層の安全確保を図ることを目的とし、市内13小学校区の通学路に防犯カメラの設置を行います。
運用の成果	児童・生徒・保護者がより安全で安心して通学出来る環境を提供していくため、防犯カメラを設置し、市内13小学校区の安全で安心な通学路の環境整備を行いました ○小学校通学路防犯カメラ設置工事 13台
事業費	8,668,000円
運用した寄附金額	8,668,000円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	①まなびプロジェクト（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	小・中学校教材整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 市内小学校13校、中学校5校の教育用コンピューターを整備することにより、学習指導要領でも例示されているICT活用を実施すると共に、学習課題への興味関心を高め、生徒・児童が繰り返しICTを利用することにより知識の定着や技能の習熟を図ることを目的とします。 （事業の内容） 市内13小学校及び5中学校のパソコン教室で使用するICT機器をリースすることにより、各学校で安定した活用を行います。
運用の成果	◆教育用コンピューター設置状況（リース契約） 小学校13校 513台 中学校5校 205台  ＜パソコン教室＞
事業費	22,204,000円
運用した寄附金額	22,204,000円
担当部課	教育部 学校教育課
	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	ふれあいのまちづくり事業
運用事業の概要	（事業の目的） 市内に居住する地域の高齢者、障害者（児）及び子育て中の親子等、自立生活を行う上において支援を必要とする人々が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支えあい、助け合い活動を、小地域で行う体制を整備することを目的とする。 （事業の内容） 各地区福祉委員会を通じて、地域の参加と協力による支えあい、助け合い活動を行う。
運用の成果	1、個別支援活動 延べ訪問回数：40,914 回 延べ訪問人数：78,606 人 登録協力員数： 1,486 人 高齢者・高齢者世帯・障害者等を中心に、定期的な声かけ訪問や家事支援、介護支援を行った。 2、グループ支援活動 実施回数： 2,761 回 延べ参加者数：52,549 人 ボランティア等関係者数：12,908 人 ①「いきいきサロン」・・・ボランティアと高齢者・障害者等が共同で活動内容を企画・運営しながら楽しい仲間づくり等を行った。 ②「世代間交流」・・・地域の高齢者等から昔からの遊びを教わったり、昔の生活の話を聞くこと等により、子どもと高齢者等の交流を図った。 ③「子育てサロン」・・・子育て中の親子等が集まり、ボランティアと一緒に子育てについての交流活動や相談活動などを行った。
事業費	11,094,000円
運用した寄附金額	7,099,000円
担当部課	健康福祉部 地域共生推進課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	三世代同居等支援事業
運用事業の概要	（事業の目的） こどもを安心して産み育てられ、また、高齢者等が安心して暮らせる健康で幸せな住環境を創るために、泉佐野市内における三世代同居等の促進を図る。 （事業の内容） 泉佐野市に転入、または市内転居により親世帯と同居または近居（直線距離が概ね 1.2km 以内）する子ども(中学生以下の孫を含む)世帯に対して、転入転居費用の一部を助成する。
運用の成果	助成件数 17件
事業費	1,700,000円
運用した寄附金額	1,700,000円
担当部課	健康福祉部 地域共生推進課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	介護予防機器借上事業 （介護保険事業特別会計繰出金事業）
運用事業の概要	（事業の目的） 高齢者の介護予防・健康づくりのため、健康長寿に取り組む。 （事業の内容） 泉佐野市の介護保険被保険者を対象に、カラオケの音楽を使用し、手や指を使った簡単な体操により体を使った90分程度の教室を市内56カ所で開催し、楽しみながら健康づくりに取り組む。
運用の成果	市の施設並びに町会館等、56カ所で教室を開催
事業費	14,050,992円
運用した寄附金額	14,050,992円
担当部課	健康福祉部 地域共生推進課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	高齢者入浴利用料助成事業
運用事業の概要	（事業の目的） 高齢者相互の交流機会及び外出機会の増加、広々とした公衆浴場での入浴機会を提供することにより、健康増進と交流・ふれあいを推進し、高齢者の介護予防・健康づくりを図る。 （事業の内容） さのぼカードを所持している市内在住の65歳以上の高齢者を対象に、市内指定施設4浴場での入浴時に現金または泉佐野地域ポイント（通称『さのぼ』）でお支払いの後、浴場利用料相当分をポイントで付与することにより助成を行う。
運用の成果	延べ利用人数 25,079人
事業費	6,203,110円
運用した寄附金額	6,203,110円
担当部課	健康福祉部 地域共生推進課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	社会福祉センター管理運営事業
運用事業の概要	（事業の目的） 高齢者相互の交流機会及び外出機会の増加、広々とした公衆浴場での入浴機会を提供することにより、健康増進と交流・ふれあいを推進し、高齢者の介護予防・健康づくりを促進するため、公衆浴場の利用者の利便性を図る。 （事業の内容） 利用者の利便性を考慮し、社会福祉センターから鶴原共同浴場へ無料シャトルバスを運行する。
運用の成果	延べ利用人数 916人
事業費	3,468,396円
運用した寄附金額	3,468,396円
担当部課	健康福祉部 地域共生推進課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	障害者地域生活支援事業（点字・声の広報等発行）
運用事業の概要	（事業の目的） 文字による情報入手が困難な障害者のために、点訳・音訳その他障害者に分かりやすい方法により、市報や視覚障害者等が地域生活をするうえで必要度の高い情報などを定期的に提供する。 （事業の内容） 広報いずみさの等の点訳・音訳を市内の点字サークル・朗読ボランティアに依頼し、視覚障害者等で希望される方に定期的に配布する。
運用の成果	点訳に使用する点字プリンタ（市の備品）が耐用年数を大幅に超過しており、メーカーからも次に故障すれば修理困難と言われていたため買い替えを行った。 最新機種への買い替えにより安定した保守点検を受けられるようになり、点字広報等の継続的な発行への不安感が払拭された。
事業費	2,836,405円（うち備品購入費950,400円）
運用した寄附金額	237,600円
担当部課	健康福祉部 地域共生推進課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	一般介護予防事業 ウォーキング委託
運用事業の概要	（事業の目的） 要介護状態等となることの予防又は悪化の防止及び地域における介護予防事業を実施することにより、運動器の機能向上を図り、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組を支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるように支援することを目的とする。 （事業の内容） 要介護になる原因の約半数を占める足と歩行の問題を解決し、健康寿命の延伸を実現するため、本市に在住する40歳以上の市民を対象に健康寿命ウォーキング（歩行訓練）を地域において実施することにより、地域住民の介護予防・介護改善を図る。
運用の成果	【講演会】15回実施 参加者数 132人 【定例会】市内9箇所 参加者数 延べ404人
事業費	4,979,260円
運用した寄附金額	622,407円
担当部課	健康福祉部 地域共生推進課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	幼児給食無償化事業
運用事業の概要	（事業の目的） ◆令和元年5月に「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律案」が成立し、「幼児教育・保育の無償化」が同年10月1日から実施されており、これに伴い、実費徴収となる給食費については市内在住でかつ通園する子どもに対し、一定金額を民間保育所運営費補助金として園に補助することで、子育て世代の保護者の軽減負担を図る。 ◆市独自の事業（泉佐野市単独補助事業）を利用し、子育て世代の経済的負担の軽減を図る。 （事業の内容） 市内在住でかつ市内の私立園に通園する子どもに対し、一定金額を民間保育所運営費補助金として園に補助することで、子育て世代の保護者の軽減負担を図る 市独自の事業（泉佐野市単独補助事業）を利用し、子育て世代の経済的負担を軽減するため、市内在住で市内の幼稚園・認可保育所・認定こども園・児童発達支援センター（旧木馬園）に在園する3～5歳児までの子ども達の給食費を無償化とする。
運用の成果	◆令和元年度 民間保育所等運営補助金（給食費事業） ＜令和元年10月～令和2年3月末＞ 23,625,400円（清和こども園 他15園） ◆引き続き、市独自の事業（泉佐野市単独補助事業）を利用し、子育て世代の経済的負担を軽減するための給食費を無償化を図る。
事業費	29,947,850円
運用した寄附金額	29,947,850円
担当部課	こども部 子育て支援課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	日根野分館保育運営事業
運用事業の概要	（事業の目的） 地域のための子育て支援施設（わたぼうし）において、地域の子育て支援の充実を担う。 （事業の内容） 親子または保護者が遊びや交流など気軽に利用できる集いの場の提供を行い、また、子育て関連の相談や情報の提供を行っています。
運用の成果	〇いつでもおいで広場 日根野地区のみならず、周辺地域等、市内一円から来ていただいています。
事業費	2,768,024円
運用した寄附金額	2,768,024円
担当部課	こども部 子育て支援課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	こども医療（単独）事業
運用事業の概要	（事業の目的） 大阪府の制度として、就学前の児童を対象に「乳幼児医療費助成制度」があるが、市独自事業として、さらに就学後から15歳に到達する年度末までの児童を対象を拡充し（平成28年4月1日付け条例改正）医療費を助成することにより、より多くの児童の健全育成を行うとともに児童福祉の向上を図ることを目的とする。 （事業の内容） 月、2回を限度に、1医療機関あたり500円／1日の自己負担の上、15歳に到達する年度末までの児童の入院・通院費及び入院時食事療養費の助成を行う（所得制限なし）。
運用の成果	◆令和元年度実績は以下のとおりです。 対象数（医療証交付数） 11,568人 医療費助成件数 151,623件 （市単独事業分助成件数 111,027件） 医療費助成費 263,175,034円 ◆医療費の助成を実施することで、受診しやすい環境をつくり、児童の健全育成を行えました。
事業費	（扶助費）263,175,034円
運用した寄附金額	180,912,987円
担当部課	こども部 子育て支援課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

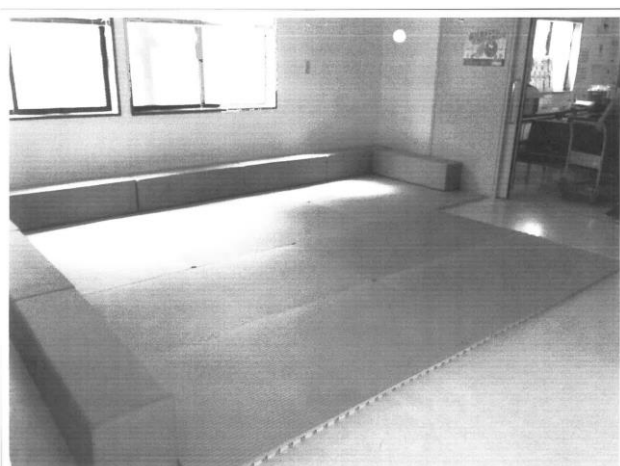
平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）								
運用事業の名称	こどもインフルエンザ予防接種事業								
運用事業の概要	（事業の目的） 季節性インフルエンザは、子どもの発症から大人へ感染することもあるため、予防接種費用の一部を助成する制度を設け、予防接種を受ける方の増加を図り、重症化予防や流行の抑制に寄与することを目的とする。 （事業の内容） 生後6ヶ月から15歳に達した日以降の最初の3月31日までの市民を対象とし、13歳未満の方は一年度で2回接種、13歳から15歳は一年度で1回接種まで、1回につき上限1,500円を助成対象とする。								
運用の成果	◆令和元年度予防接種助成者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th><th>助成者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13歳未満</td><td>4,471人</td></tr> <tr> <td>13歳以上</td><td>868人</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>5,339人</td></tr> </tbody> </table> ◆感染症予防充実の観点から、引き続き助成を行います。	対象者	助成者数	13歳未満	4,471人	13歳以上	868人	合計	5,339人
対象者	助成者数								
13歳未満	4,471人								
13歳以上	868人								
合計	5,339人								
事業費	12,592,500円								
運用した寄附金額	12,592,500円								
担当部課	健康福祉部 健康推進課								
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課								

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	日新小学校学童整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 適切な遊び場及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る （事業の内容） 老朽化による学童専用施設の建替え
運用の成果	近年の登録者数の増加により、施設の確保が難しくなり、施設の老朽化やトイレ施設の外側に隣接しているため雨などの対応で今回の建替えにより大きく改善された。 ○日新小学校留守家庭児童会施設整備本体工事（A=214.73 m²） ○日新小学校留守家庭児童会施設整備電気設備工事 ○日新小学校留守家庭児童会施設整備機械設備工事 ○日新小学校留守家庭児童会施設整備解体工事 
事業費	58,683,900円
運用した寄附金額	27,253,224円
担当部課	教育部 学校教育課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	母子保健健康診査事業
運用事業の概要	（事業の目的） 健診センターにおいて、各種健診時に使用しているマット及びスツール、運搬用台車が老朽化により破損しており、危険が生じているため、買い替えにより更新するもの。 （事業の内容） 健診センターの老朽化した備品を買い替えにより更新を行う。
運用の成果	マットー式 スツール（小）×6 台車×3台 を買い替えにより、更新 
事業費	694,010円
運用した寄附金額	694,010円
担当部課	健康福祉部 健康推進課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	高齢者運転免許自主返納奨励事業
運用事業の概要	（事業の目的） 大阪府では交通事故発生件数が全体的に減っているなか、高齢者ドライバー（65歳以上）による交通事故発生件数は、ほぼ横ばいで推移している。高齢者ドライバーによる交通事故を更に減少させるため、運転に自信のなくなった、または運転する機会の少なくなった高齢者の方が、運転免許証を自主返納しやすい環境づくりのため、高齢者運転免許自主返納奨励事業として地域ポイント「さのぼ」を進呈し、併せて「さのぼ」活用による地域経済の活性化促進を図るものです。 （事業の内容） 運転免許証を自主返納した高齢者に地域ポイント「さのぼ」10万ポイントの進呈 対 象 泉佐野市に住所を有する返納時65歳以上の高齢者 対象期間 平成29年4月1日以降の自主返納 申請期間 令和元年9月9日～10月31日 募集人数 100人（申込多数の場合は抽選）
運用の成果	◆ 令和元年度の実施結果は次のとおりです。 ・ 申請件数 317件 ・ 当初付与人数 100人 ・ 追加付与人数 214人（申請者多数につき救済措置対応） ・ 合計付与人数 314人 ◆この事業の実施により、本市における高齢者免許返納者は、平成29年の事業開始当初より、継続して増加傾向にあり、大阪府平均返金率に近づいている状況である。加齢に伴う身体機能低下等によって運転に不安を感じるようになった高齢者ドライバーにとって、自主返納を考えるきっかけとなり、交通安全の啓発につながっているものと思われる。 ◆引き続き、高齢者ドライバーが急激に増える状況下、高齢者ドライバーによる交通事故を更に減少させるため、また運転に自信のなくしたり、運転する機会の少なくなった高齢者の方が、運転免許証を自主返納しやすい環境づくりのために、本事業を継続したい。
事業費	31,400,000円
運用した寄附金額	31,400,000円
担当部課	都市整備部 道路公園課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	③ともにいきるプロジェクト（福祉基金）
運用事業の名称	防犯推進事業（特殊詐欺）
運用事業の概要	（事業の目的） 振り込め詐欺などの特殊詐欺を防止し、安全・安心なまちづくりを進める。 （事業の内容） 特殊詐欺対策機器（迷惑電話防止装置）の65歳以上の市民への無料貸与。 （貸出台数300台）
運用の成果	令和元年度は、迷惑電話防止装置貸出台数の300台をすべて貸出し、継続して事業実施しました。
事業費	2,295,785円
運用した寄附金額	2,295,785円
担当部課	市民協働部 自治振興課
基金所管部課	健康福祉部 地域共生推進課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	④人づくりプロジェクト（国際交流振興基金）
運用事業の名称	海外派遣（青少年海外研修）事業
運用事業の概要	（事業の目的） 青少年育成 （事業の内容） オーストラリア・クイーンズランド州・サンシャインコーストへの青少年派遣
運用の成果	1 青少年海外研修 （1）派遣先 オーストラリア・クイーンズランド州・サンシャインコースト （クィンズ・イングリッシュ・サンシャインコースト） （2）期間 7月31日～8月16日（17日間） （3）派遣者数 12名（青少年10名・職員2名） 2 事前研修 （1）期間 6月9日（日）～7月21日（日）までの毎週日曜日の7日間 （2）回数 ア 英会話レッスン 9回 イ 生活セミナー 3回 ウ 日本文化紹介 7回 3 事後研修 （1）日時 9月8日（日） （2）参加者数 19名 （青少年7名・生徒10名・職員1名・教員1名） 4 帰国報告会 （1）日時 9月23日（月・祝） （2）参加者数 23名 （青少年10名・生徒10名・職員1名・教員2名）
事業費	5,409,732円
運用した寄附金額	5,409,732円
担当部課	教育部 学校教育課
基金所管部課	市民協働部 自治振興課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	④人づくりプロジェクト（国際交流振興基金）
運用事業の名称	国際交流推進事業（学校教育課）
運用事業の概要	（事業の目的） ・姉妹都市・友好都市との交流 ・英語教育の推進 （事業の内容） ・オーストラリア・クイーンズランド州・サンシャインコーストマラソンへのランナー派遣 ・KIX 泉州国際マラソン友好都市ランナー（モンゴル国トゥブ県から）受入 ・オーストラリア・クイーンズランド州・サンシャインコースト市への生徒派遣
運用の成果	1 姉妹都市・友好都市との交流 （マラソン大会への市民ランナー派遣） (1) オーストラリア・クイーンズランド州・サンシャインコーストマラソンへ市民ランナー2名及び市職員ランナー1名派遣 7月31日（水）～8月5日（月） (2) 第27回KIX泉州国際マラソンにモンゴル国トゥブ県から1名受け入れ 2月13日（木）～2月18日（火） 2 英語教育推進生徒派遣事業 (1) オーストラリア・クイーンズランド州・サンシャインコースト市への生徒派遣 ア 期間 7月31日～8月7日（8日間） イ 派遣人数 11名（生徒10名・教員1名）
事業費	4,192,889円
運用した寄附金額	4,192,889円
担当部課	教育部 学校教育課
基金所管部課	市民協働部 自治振興課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	④人づくりプロジェクト（国際交流振興基金）
運用事業の名称	国際交流推進事業（自治振興課）
運用事業の概要	（事業の目的） ① 世界の迎都（げいと）として、海外の友好都市との交流を推進する。 ② 市民の国際化啓発および在住外国人支援 （事業の内容） ① 海外の友好提携都市及び友好関係都市との交流事業実施 ② 多文化共生に関わる事業について、国際交流団体への事業委託
運用の成果	①海外の友好提携都市等との交流事業 （１）既存の友好提携都市との交流事業（相互訪問等） 中国上海市徐匯区、上海市宝山区 四川省成都市新都区、山東省聊城市東阿県 モンゴル国トゥブ県 ウガンダ共和国グル市 ブラジル連邦共和国サンパウロ州マリリア市 （２）新たな友好提携都市との調印 中国山東省威海市 ベトナム社会主義共和国ビンディン省 （３）ホストタウン事業 モンゴル国 モンゴル国陸上競技協会関連事業、事前合宿受入 ウガンダ共和国 現地での事業調整、マラソンランナー受入 （４）その他友好交流 中国内モンゴル自治区への友好訪問団派遣 モンゴル少年相撲訪問団受入 中国各都市とのマスク交流（徐匯区、新都区、威海市、重慶市） ②市民の国際化啓発および在住外国人支援のため、下記事業実施（NPO 法人泉佐野地球交流協会への委託事業） ・国際交流イベント事業 ・日本語学習支援事業 ・多文化共生に関する事業
事業費	26,670,000円
運用した寄附金額	21,071,740円
担当部課	市民協働部 自治振興課
基金所管部課	市民協働部 自治振興課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	大阪版 DMO 推進連携事業（りんくう関空まち処運営）
運用事業の概要	（事業の目的） 観光案内所を設置し、訪日外国人旅行者をはじめとする来訪者にホスピタリティを提供することにより、市への満足度向上を図るとともに、観光案内所「まち処」を核としたインバウンド観光の拠点づくりを行うことで、地域経済の活性化に資することを目的とする。 （事業の内容） 観光案内所（りんくうまち処・関空まち処）の運営
運用の成果	●観光交流プラザ「りんくうまち処」 利用者数：62,954 人（日本人 14,617 人、外国人 48,337 人） 特産品等売上金額：12,409,210 円  ●観光情報プラザ「関空まち処」 利用者数：108,652 人（日本人 82,006 人、外国人 26,646 人） 特産品等売上金額：10,797,943 円 
事業費	38,400,000円
運用した寄附金額	28,700,000円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	観光振興事業（泉佐野まち処運営）
運用事業の概要	（事業の目的） 観光案内所を設置し、訪日外国人旅行者をはじめとする来訪者にホスピタリティを提供することにより、市への満足度向上を図るとともに、観光案内所「まち処」を核としたインバウンド観光の拠点づくりを行うことで、地域経済の活性化に資することを目的とする。 （事業の内容） 観光案内所（泉佐野まち処）の運営
運用の成果	●観光おもてなしプラザ「泉佐野まち処」 利用者数：12,673人（日本人8,062人、外国人4,611人） 特産品等売上金額：5,815,941円 
事業費	14,581,168円
運用した寄附金額	14,581,168円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	観光振興事業（キャラクター管理運営）
運用事業の概要	（事業の目的） 市公式キャラクター「イヌナキン」による市の認知度向上とイメージアップを図り、地域の活性化と郷土愛の促進に寄与することを目的とする。 （事業の内容） 市公式キャラクター「イヌナキン」の着ぐるみ維持管理、イベント等への出演、公式グッズの製作・販売等
運用の成果	●イベント出演 （飛鳥Ⅱ寄港歓迎イベント、泉佐野郷土芸能の集い、ぺこちゃん不二家キャラバン、泉佐野こども議会、泉佐野商工まつり、肉フェス、泉州オータムフェスタ、糸えじゃないか祭り、そらやん周年記念イベント、KIX 泉州国際マラソンなど） ●着ぐるみの管理 （貸し出し、修繕など） ●グッズ製作、販売 （フェイスタオル、ラバーキーホルダー、キン肉マンコラボキーホルダー、ぬいぐるみ、Tシャツ、缶バッジなど） 
事業費	4,557,656円
運用した寄附金額	4,557,656円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	関空立国デスティネーション化推進事業
運用事業の概要	（事業の目的） 関空の対岸という地理的優位性と交通利便性の強みを活かしたエリアの魅力創出による観光客の目的地化と周辺地域への出発地あるいは中継地としての機能強化を図り、観光ハブ都市の形成をめざす。 （事業の内容） ・Destination化推進事業〔主な業務〕ナイトタイムエコノミーの推進 ・ガストロノミーツーリズム構築事業〔主な業務〕広域観光周遊ルートの構築 ・インバウンド受入環境整備強化事業〔主な業務〕QRトランスレーターの拡充 ・グローバル人材育成事業〔主な業務〕グローバル・マーケティング人材等の育成
運用の成果	●ナイトタイムエコノミー推進業務 夜市、アンケート調査の実施 実施日：令和元年9月7日（土） 場所：駅上名店街アーケード 出店数：20店舗 来場者：2,827名 ●全国物産フェア運営業務 実施日：令和元年7月27日（土） 場所：府営りんくう公園第2駐車場 来場者数：3,715名（※泉佐野郷土芸能の集いと同時開催） 消費額（総売上）：1,023,783円 出店数：26店舗 ●日本文化体験ツアー造成業務 「泉佐野郷土芸能の集い」へのインバウンド誘客（388名） ●グローバル人材養成業務 DMO組織強化と専門人材の育成のため、外部の専門人材を候補DMOに派遣 ●多言語案内環境整備業務 QRトランスレーター（QRコードによる多言語表示サービス）の整備 ●広域周遊ルート調査業務 インフルエンサーを招聘してファミトリップを実施、和歌山市、紀の川市と連携した広域周遊観光ルートのカラーコンテンツの構築、インフルエンサーのSNS等で情報発信 ●デスティネーション戦略調査業務 旅行者等に同行する行動観察調査（定性調査）を実施
事業費	46,802,196円
運用した寄附金額	23,397,008円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	就労支援カレッジ事業
運用事業の概要	（事業の目的） 農業従事者の高齢化が進行する中、若者の農業における就労支援に取り組んでいる本市と、農業従事者の後継者不足が深刻化している弘前市及び加賀市と連携することにより、労働力の底上げや人材の都市間移転を促進し、都市及び地方の活性化を図る。 （事業の内容） 大阪市などの大都市圏周辺に在住する就農希望者や就労経験の少ない若年者等を本市で研修生として受け入れ、農業を通じて就労支援を実施するとともに、希望に応じて弘前市のリンゴ農家、加賀市の梨農家において実践的な農業体験を実施する。
運用の成果	本市及び弘前市、加賀市において一定数の研修生が農業体験し、新規就労を実現することができた。 ・ 泉佐野市での農業体験者 132 人 ・ 弘前市での農業体験者 14 人 ・ 加賀市での農業体験者 9 人 ・ 新規就労者 15 人
事業費	44,482,000円
運用した寄附金額	22,241,000円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	エリアマネジメント活動推進事業
運用事業の概要	（事業の目的） 商店街をはじめ中心市街地エリア周辺の遊休不動産を活用したエリアマネジメントの推進、女性等の社会進出のサポートにつなげる中心市街地エリアでの雇用機会の創出、中心市街地エリアに人が集う仕組みの構築等を通じて、まちづくり企業を中心に市の中心市街地の再生・活性化につなげていくことを目的とする。 （事業の内容） （１）エリアマネジメント活動推進事業：中心市街地周辺エリアのエリアマネジメントに取り組むまちづくり企業のまち再生事業の実施 （２）SDG s 推進事業：育児・介護等で家庭にいる女性等の社会進出につながるセミナーやワークショップ等の開催や、中心市街地エリアで起業しようと考えている人へのサポート等 （３）マーケティング戦略推進事業：泉佐野地域ポイント「さのぼ」を活用した中心市街地の商店街等の消費喚起につながる支援、及び当該支援を通じて得られたマーケティングデータを活用した既存店舗の販路拡大支援や、マーケティングデータを通じた店舗リーシングの実施
運用の成果	●エリアマネジメント活動推進事業 ・まちづくり企業（バリュー・リノベーションズ・さの）の設立 ・まちやど実践ワークショップを通じた空き物件の活用件数：2件 ※新型コロナウイルス感染症拡大により事業開始はR2年度中になる予定 ・講演会開催：（開催回数）3回、（参加者数《のべ人数》）206人 ●SDG s 推進事業 ・テレワークスペースの開設：利用者数のべ604人 ・ワークライフバランスセミナーの開催： （開催回数）2回、（参加者数）50人 ・こども絵画コンクール：応募点数：113点 ●マーケティング戦略推進事業 ・さのぼ利用者数：25,799人 ・さのぼによる消費額：1,322,554,085円 ・販路拡大支援件数：のべ46店舗
事業費	66,028,613円
運用した寄附金額	33,014,777円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	泉州タオルプロモーション推進事業
運用事業の概要	（事業の目的） 日本のタオル発祥の地である本市において、業界等と連携して「泉州タオル」の知名度向上、産量拡大等を推進することにより国内生産量「日本一」をめざし、地域の活性化に寄与することを目的とする。 （事業の内容） 業界等と連携し、市内でのイベントはもとより、特産品相互取扱協定締結市でのイベント等において「泉州タオル」の認知度向上に向けたプロモーション活動を実施
運用の成果	特産品相互取扱協定締結市など、地域外のイベントにおいて「泉州タオル」の展示・販売等 PR 活動を積極的に展開したことにより、地域外における認知度が向上するとともに、地域外のアンテナショップにおいても「泉州タオル」が展示・販売されるなど、販路が拡大した。 また、地元においては、「泉州タオル」を使った世界記録への挑戦、郷土芸能の集いでの「泉州タオルプリンス&プリンセスコンテスト」の実施などにより、「泉州タオル」が地元を代表する特産品であることを地域内外に発信することができた。
事業費	6, 276, 745円
運用した寄附金額	6, 276, 745円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト*泉佐野郷土芸能の集い（地域経済振興基金）
運用事業の名称	観光振興事業（イベント助成金）
運用事業の概要	（事業の目的） 市内外に対して広く市のPRを行うとともに、まちの活性化を図ることを目的とする。 （事業の内容） イベントを行う市民団体等に対して、イベント助成金を交付する。
運用の成果	市を代表するイベントの一つである当イベントの運営経費の助成を行ったことで、市のPRと地域の活性化に寄与した。  
事業費	3,900,000円
運用した寄附金額	3,900,000円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト*ENJOYりんくう（りんくう花火） （地域経済振興基金）
運用事業の名称	観光振興事業（イベント助成金）
運用事業の概要	（事業の目的） 市内外に対して広く市のPRを行うとともに、まちの活性化を図ることを目的とする。 （事業の内容） イベントを行う市民団体等に対して、イベント助成金を交付する。
運用の成果	市を代表するイベントの一つである当イベントの運営経費の助成を行ったことで、市のPRと地域の活性化に寄与した。  
事業費	18,720,000円
運用した寄附金額	18,720,000円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト*ザ・まつり in Izumisano（地域経済振興基金）
運用事業の名称	観光振興事業（イベント助成金）
運用事業の概要	（事業の目的） 市内外に対して広く市のPRを行うとともに、まちの活性化を図ることを目的とする。 （事業の内容） イベントを行う市民団体等に対して、イベント助成金を交付する。
運用の成果	市を代表するイベントの一つである当イベントの運営経費の助成を行ったことで、市のPRと地域の活性化に寄与した。  
事業費	3,590,000円
運用した寄附金額	3,590,000円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト*泉州YOSAKOI 糸えじゃないか祭り（地域経済振興基金）
運用事業の名称	観光振興事業（イベント助成金）
運用事業の概要	（事業の目的） 市内外に対して広く市のPRを行うとともに、まちの活性化を図ることを目的とする。 （事業の内容） イベントを行う市民団体等に対して、イベント助成金を交付する。
運用の成果	市を代表するイベントの一つである当イベントの運営経費の助成を行ったことで、市のPRと地域の活性化に寄与した。  
事業費	3,970,000円
運用した寄附金額	3,970,000円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	観光振興事業（イベント助成金）※佐野浜四町夏フェスティバル
運用事業の概要	（事業の目的） 市内外に対して広く市のPRを行うとともに、まちの活性化を図ることを目的とする。 （事業の内容） イベントを行う市民団体等に対して、イベント助成金を交付する。
運用の成果	当イベントの運営経費の助成を行ったことで、市のPRと地域の活性化に寄与した。 
事業費	1,000,000円
運用した寄附金額	1,000,000円
担当部課	生活産業部 まちの活性課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	漁業振興事業 （漁業振興対策事業補助金）
運用事業の概要	（事業の目的） 佐野漁港（泉佐野・北中）及び青空市場を中核とするフィッシャーマンズ・ワーフの活性化と周辺地域経済の振興を図る。 （事業の内容） ・地域イベントの実施 ・フィッシャーマンズ・ワーフ及び周辺の防犯と交通安全対策 ・施設案内板設置 事業主体 ミニポートピアりんくう周辺対策協議会
運用の成果	○集客イベントの実施（8回） 抽選会、鮮魚特別販売等 ○防犯・交通安全対策 ・佐野漁港及び周辺地域 防犯カメラ一式 ・交通安全警備員配置 等 ○施設案内板設置 イベントの実施や防犯・交通安全対策・平成30年台風21号で破損したフィッシャーマンズ・ワーフの施設案内板の製作・設置をすることによりフィッシャーマンズ・ワーフの健全で安全な周辺環境の維持を図り、その活性化と周辺地域経済の振興に寄与した。
	
事業費	5,500,000円
運用した寄附金額	5,500,000円
担当部課	生活産業部 農林水産課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	農業振興補助事業（農業祭補助金）
運用事業の概要	（事業の目的） 泉佐野産農作物のPRと地域に根付いた「食育」を推進するための情報発信を行い、生産者と消費者の交流を促進することを目的とする。 （事業の内容） 農業祭（令和元年12月7日）の開催 主催 企画運営委員会（市・JA）
運用の成果	・泉佐野産農産物品評会（12月6日） ・品評会の表彰式  ・農業祭での展示・即売会 ・エコ農産物のPR ・タオルの販売・農機具販売 ・もち販売・模擬店（お好み焼き、うどん等） ・特産品相互取扱協定市による特産品展示・販売（11市） 農業祭に多くの市民が来場し、生産者と消費者の交流を通じて、安心・安全な泉佐野産農産物をPRし、農業の振興を図った。  
事業費	1,000,000円
運用した寄附金額	1,000,000円
担当部課	生活産業部 農林水産課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	泉佐野産普及促進事業
運用事業の概要	（事業の目的） ・「特産品相互取扱協定」を締結し、自治体間で相互に特産品を情報発信し、PR 活動や販路拡大に努める。 ・泉佐野で収穫された地場野菜や魚介類の食材を活用し、泉佐野産のブランド化と6次産業化の促進を図り、特産品の普及促進を行う。 （事業の内容） 「特産品相互取扱協定市へのイベントにかかる費用（旅費、特産品等）・地場産食材普及促進業務」
運用の成果	○特産品相互取扱協定締結自治体 令和元年度末 47 市 ○イベント 令和元年度 37 市 全国の自治体と締結した「特産品相互取扱協定」のスケールメリットを活かし、全国で泉佐野産特産品の PR 活動を行った。 また、「ホテル日航関西空港」「きたなかマルシェ」の協力を得て、泉佐野産（もん）の松波キャベツと特産品相互取扱協定締結市のなかから松波キャベツと相性のいい食材を選び出し、ホテル内のレストランにて季節限定メニュー（二品）の提供をした。  泉佐野産の食材を活用した泉佐野産のブランド化と 6 次産業化の促進を図り、生産者の生産意欲の向上と経営安定化、泉佐野産特産品の普及促進に努めた。
事業費	9, 079, 799円
運用した寄附金額	9, 079, 799円
担当部課	生活産業部 農林水産課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑤にぎわいづくりプロジェクト（地域経済振興基金）
運用事業の名称	農業用施設維持管理事業 （きらめく水と緑のふれあい環境基金分）
運用事業の概要	（事業の目的） 農業用施設の適正な維持管理を促し農業生産の安定化を図るとともに、ため池を農業用施設として活かしつつ、ゆとりの空間として地域社会にも貴重な環境資源として市民にも提供し、コミュニティの活性化を図る。 （事業の内容） 貝の池、新滝の池、大細利池をため池オアシスとして、草刈り、ゴミ収集、トイレ清掃、修繕等の日常管理を行う。また、令和元年度については、老朽化により朽ちていた新滝の池のデッキの修繕と陥没した新滝の池公衆トイレ付近駐車場の復旧工事（修繕）を行った。 ※平成29年3月31日付で「泉佐野市きらめく水と緑のふれあい環境基金」を廃止し、地域経済振興基金に統合したもの。
運用の成果	貝の池、新滝の池、大細利池をため池オアシスとして、草刈り、ゴミ収集、トイレ清掃、修繕等の日常管理を行うことにより、多くの市民に利用してもらい、コミュニティの活性化を図った。
事業費	8,468,231円
運用した寄附金額	8,468,231円
担当部課	生活産業部 農林水産課
基金所管部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑦地域のアートプロジェクト（芸術文化振興基金）
運用事業の名称	生涯学習センター運営事業
運用事業の概要	（事業の目的） 生涯学習センターの運営に対して、援助を行う基金 （事業の内容） 生涯学習センターにおいて行われる行事（全国タオル筆で描く絵てがみコンクール、将棋大会）の事業の補助
運用の成果	生涯学習センター運営事業 4,789,643円 絵てがみコンクール全国大会 ・作品展運営等業務委託料 2,752,643円  伝統文化承継事業委託料（将棋大会）2,037,000円 
事業費	8,385,133円
運用した寄附金額	4,789,643円
担当部課	教育部 生涯学習課
基金所管部課	教育部 生涯学習課

平成 30 年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑧クリーンプロジェクト（環境衛生事業基金）																																																							
運用事業の名称	泉佐野市犬・猫不妊去勢手術費用助成金交付事業																																																							
運用事業の概要	（事業の目的） 狂犬病予防法（昭和25年法律第247号）に規定する飼い犬の登録の促進及び狂犬病予防注射実施率の向上、また、動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）の趣旨に基づき、犬及び猫のみだりな繁殖を抑制することを目的とする。 （事業の内容） 不妊去勢手術を行なった犬・猫の飼い主に対してその費用を助成する。																																																							
運用の成果	◆令和元年度の実績は次のとおりです。 <table><tr><th rowspan="2">種別</th><th>申請数</th><th>オス</th><th>メス</th><th rowspan="2">助成額（円）</th></tr><tr><th>助成数</th><th>オス</th><th>メス</th></tr><tr><td rowspan="2">飼い犬</td><td>52</td><td>25</td><td>27</td><td rowspan="2">220,000</td></tr><tr><td>44</td><td>22</td><td>22</td></tr><tr><td rowspan="2">飼い猫</td><td>63</td><td>34</td><td>29</td><td rowspan="2">265,000</td></tr><tr><td>53</td><td>30</td><td>23</td></tr><tr><td rowspan="2">地域猫</td><td>144</td><td></td><td></td><td rowspan="2">515,000</td></tr><tr><td>103</td><td>54</td><td>49</td></tr><tr><td rowspan="2">合 計</td><td>259</td><td></td><td></td><td rowspan="2">1,000,000</td></tr><tr><td>200</td><td>106</td><td>94</td></tr></table> ◆飼い犬登録頭数・狂犬病予防注射済票交付件数は次のとおりです。 <table><tr><th>年度</th><th>飼い犬登録頭数</th><th>狂犬病予防注射済票交付件数</th></tr><tr><td>平成28年度</td><td>5,347</td><td>3,335</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>5,015</td><td>3,241</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>4,864</td><td>3,191</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>4,618</td><td>3,170</td></tr></table>	種別	申請数	オス	メス	助成額（円）	助成数	オス	メス	飼い犬	52	25	27	220,000	44	22	22	飼い猫	63	34	29	265,000	53	30	23	地域猫	144			515,000	103	54	49	合 計	259			1,000,000	200	106	94	年度	飼い犬登録頭数	狂犬病予防注射済票交付件数	平成28年度	5,347	3,335	平成29年度	5,015	3,241	平成30年度	4,864	3,191	令和元年度	4,618	3,170
種別	申請数		オス	メス	助成額（円）																																																			
	助成数	オス	メス																																																					
飼い犬	52	25	27	220,000																																																				
	44	22	22																																																					
飼い猫	63	34	29	265,000																																																				
	53	30	23																																																					
地域猫	144			515,000																																																				
	103	54	49																																																					
合 計	259			1,000,000																																																				
	200	106	94																																																					
年度	飼い犬登録頭数	狂犬病予防注射済票交付件数																																																						
平成28年度	5,347	3,335																																																						
平成29年度	5,015	3,241																																																						
平成30年度	4,864	3,191																																																						
令和元年度	4,618	3,170																																																						
事業費	1,000,000円																																																							
運用した寄附金額	1,000,000円																																																							
担当部課	健康福祉部 健康推進課																																																							
基金所管部課	生活産業部 環境衛生課																																																							

平成 30 年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑧クリーンプロジェクト（環境衛生事業基金）
運用事業の名称	檀波羅公園墓地整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 既存の公園墓地施設の安全性や利便性の維持・向上、及び墓地に対する新たな市民ニーズへの対応を目的とする。 （事業の内容） 檀波羅公園墓地維持管理基本計画に基づき、公園施設の計画的な改修、整備を行う。
運用の成果	◆ 令和元年度に実施した事業内容は次のとおりです。 ・ 檀波羅公園墓地通路舗装整備 ・・・（工事請負費）1,969,000 円 ◆ 引き続き計画に基づき、施設の老朽箇所等について順次改修を進めて参ります。 
事業費	1, 9 6 9, 0 0 0円
運用した寄附金額	1, 9 6 9, 0 0 0円
担当部課	生活産業部 環境衛生課
基金所管部課	生活産業部 環境衛生課

平成 30 年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑧クリーンプロジェクト（環境衛生事業基金）
運用事業の名称	家庭用燃料電池コージェネレーションシステム設置補助事業
運用事業の概要	（事業の目的） 温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止に寄与することを目的としています。市内一般家庭で、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）導入を支援することにより、環境にやさしい社会を目指します。また、同時に定住促進を促します。 （事業の内容） 所定の要件の下、住宅に燃料電池コージェネレーションシステムを設置する、または設置された住宅を購入する個人に対して、設置費の一部を補助することにより、温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止に寄与する。 ・ 補助金額 定額 5 万円 ・ 補助予定件数 100 件
運用の成果	◆ 令和元年度家庭用燃料電池コージェネレーションシステム設置補助金の交付件数、交付金額は次の通りです。 ・ 設置補助金交付件数 100 件 ・ 交付総額 500 万円 - 新築設置件数 25 件 - 既築設置件数 75 件
事業費	5,000,000円
運用した寄附金額	5,000,000円
担当部課	生活産業部 環境衛生課
基金所管部課	生活産業部 環境衛生課

平成 30 年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑧クリーンプロジェクト（環境衛生事業基金）
運用事業の名称	まち美化清掃事業
運用事業の概要	（事業の目的） 高齢者が生き生きと働ける場を確保するとともに、ポイ捨てのない美しいまちづくりを推進することを目的とする。 （事業の内容） 南海泉佐野駅、ＪＲ日根野駅等の市内各駅周辺をはじめ、市等が管理する道路及び公園等のうちから、５つの中学校区別に清掃区域を設定し、当該区域内のポイ捨てごみ等の収拾運搬を公益社団法人泉佐野市シルバー人材センターに委託するもの。
運用の成果	◆令和元年度活動実施結果は次の通りです。 ・従事延人数 ２，７６４人 ・従事延時間数 ６，００２時間 ・委託料決算額 ７，１８２，４７１円 ◆この結果、高齢者雇用創出の向上、地域の美化推進が図られた。 ◆引き続き事業を継続することにより、上記結果の充実を行います。
事業費	７，１８２，４７１円
運用した寄附金額	７，１８２，４７１円
担当部課	生活産業部 環境衛生課
基金所管部課	生活産業部 環境衛生課

平成 30 年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑧クリーンプロジェクト（環境衛生事業基金）
運用事業の名称	花とみどりのボランティア事業
運用事業の概要	（事業の目的） 市域の快適な生活環境を保全するとともに、緑化意識の高揚と地域の活性化を図ることを目的とする。 （事業の内容） 市内の道路植栽帯や公園等における花壇整備・清掃活動を実施していただく団体を募集し、市の支援としてボランティア活動保険加入手続の代行、及び加入保険料の負担、ボランティア袋の支給及び活動表示板の貸与を行うとともに、花壇等での花木の植え付け管理をしていただける団体に対して、必要最小限の園芸用具と花木の種苗等の購入費として花壇等 1 平方メートル当たり 1 万円、ただし 1 団体当たり 5 万円を限度とする活動推進補助金を支給するもの。
運用の成果	◆令和元年度活動実施結果は次の通りです。 ・実施団体数 23 団体 ・同決算額 30,300 円（101 人分） ・活動推進補助金交付団体数 16 団体 ・同決算額 508,803 円 ・消耗品費等決算額 （ボランティア袋）14,520 円 （郵便料） 3,360 円 ◆この結果、市域の生活環境保全の向上、緑化意識の高揚、地域の活性化が図られた。 ◆引き続き事業を継続することにより、上記結果の充実を行います。 
事業費	556,983 円
運用した寄附金額	556,983 円
担当部課	生活産業部 環境衛生課
基金所管部課	生活産業部 環境衛生課

平成 30 年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑧クリーンプロジェクト（環境衛生事業基金）
運用事業の名称	環境美化活動促進補助金交付事業（カワウ対策）
運用事業の概要	（事業の目的） 市域の環境美化にかかる課題を解決するための事業を行う町会・自治会等に対して、その自主的な活動を支援することを目的とする。 （事業の内容） カワウ等鳥類のコロニー（集団営巣地）のフン、鳴き声、死骸等による周辺の環境美化に対する深刻な影響について、補助事業者が行う調査研究事業、実証実験事業、その他課題解決のための事業に対して予算の範囲内で活動推進補助金を支給するもの。
運用の成果	◆令和元年度活動実施結果は次の通りです。 ・実施団体数 1 団体 ・同決算額 17,000円 ◆この結果、環境美化に対する深刻な影響について大きく改善されつつある。 ◆引き続き事業を継続することにより、上記結果の充実を行います。  
事業費	17,000円
運用した寄附金額	17,000円
担当部課	生活産業部 環境衛生課
基金所管部課	生活産業部 環境衛生課

平成 30 年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑧クリーンプロジェクト（環境衛生事業基金）
運用事業の名称	エコバッグ作製事業
運用事業の概要	（事業の目的） 地球規模で進むプラスチックごみ問題解決、SDGs 達成寄与することを目的とする。 （事業の内容） 「泉佐野市プラスチックごみゼロ宣言」により、ポイ捨ての防止、使い捨て削減に向けた啓発、4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の更なる推進を行なうための一環として、エコバッグを作製し、消費生活フェア等各種イベントで配布し、市民及び事業者への啓発を行う。
運用の成果	来場者の多いショッピングモールで開催の消費生活フェアで配布、啓発を行った。会場がショッピングモールということもあり、幅広い年齢層に啓発することが出来た。 ◆配布実績 3,600個     
事業費	2,348,500円
運用した寄附金額	2,348,500円
担当部課	生活産業部 環境衛生課
基金所管部課	生活産業部 環境衛生課

平成 30 年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑧クリーンプロジェクト（環境衛生事業基金）
運用事業の名称	長滝駅前公衆トイレ整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 駅の利用者、さらに周辺住民の方も利用できることを目的としています。 市民ニーズへの対応。 （事業の内容） ＪＲ長滝駅前に公衆トイレを設置。
運用の成果	◆令和元年度に実施した事業内容は次のとおりです。 ・長滝駅前公衆トイレ整備・・・（工事請負費）38,365,000 円 ◆この結果、市民ニーズに応えることができた。 
事業費	38, 365, 000円
運用した寄附金額	38, 365, 000円
担当部課	生活産業部 環境衛生課
基金所管部課	生活産業部 環境衛生課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑨ふるさとプロジェクト（ふるさと文化資料基金）
運用事業の名称	歴史文化資料の保存活用事業
運用事業の概要	（事業の目的） 泉佐野市内の歴史文化について、市民の学習意欲や教育普及効果を高めるために、より効果的な活用事業を図ることを目的とする。 （事業の内容） ・ 史跡日根荘遺跡整備事業 ・ 重要文化財保存整備事業 ・ 文化財施設管理事業 ・ 文化財保存事業（歴史文化交流業務）
運用の成果	 （上大木無名橋（吊り橋）） ・ 上大木無名橋（吊り橋）改修工事 ・ 西光寺参道（上大木墓地・禅徳寺参道）法面および参道工事拡幅工事  （大將軍湯外観）

	・大將軍湯の管理業務 ・大將軍湯保存活用計画策定のための調査を実施 ・火走神社摂社幸神社本殿保存修理事業 (秋田県にかほ市訪問) ・歴史文化交流事業として、泉佐野市と歴史のご縁のある秋田県にかほ市を訪問
事業費	17,424,688円
運用した寄附金額	17,424,688円
担当部課	教育部 文化財保護課
基金所管部課	教育部 文化財保護課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	スポーツ振興事業（協定締結市町村体験学習）
運用事業の概要	（事業の目的） 市内小・中学生を公募して、日常では体験できないスキーを体験することにより、児童・生徒のスポーツへの興味や関心を高め、本市におけるスポーツの振興を図ることを目的とする。 （事業の内容） 市内在住の小・中学生 20 名を公募し、登別市サンライバスキー場（北海道登別市）に派遣し、スキー体験（講習会参加）を行う。また、地元登別市の児童・生徒との交流を図る。 ※泉佐野市スポーツ推進委員協議会への委託事業として実施。
運用の成果	派遣先 登別市サンライバスキー場（北海道登別市） 派遣期間 令和元年 12 月 25 日（水）～27 日（金） 2泊3日 派遣人数 市内小学5年生～中学2年生 20 名 実施内容 ・スキー講習会 3クール 6時間（予定：4クール8時間） ・登別市スポーツ少年団の児童との交流会 ※暖冬の影響により、積雪量が少なくスキー場のオープンが遅くなったため、予定していたスキー講習会の時間は短くなったものの、スキー初体験の参加者も含め、最終日には全員がリフトに乗ってコースを滑ることができたことで、スポーツ（スキー）へのモチベーションアップにつながったと思われる。また、地元の児童たちとの交流会では、それぞれのまちの特産品をはじめとする郷土の紹介を行ったり、ゲーム形式の遊びを交えながら交流を行うなど、友好を深めることができた。  また、2泊3日の班での共同生活では、上級生が班長となり、自分たちで役割分担を決め、サポートし合いながら自主的に行動し、スケジュールを守って合宿を過ごせたことは、たいへん有意義な体験になったと思われる。
事業費	2,435,000円
運用した寄附金額	2,435,000円
担当部課	教育部 スポーツ推進課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の使途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	スポーツ振興事業（オリンピック聖火リレー）
運用事業の概要	（事業の目的） 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会は、市民のスポーツに対する関心が高まる絶好の機会であり、地域のスポーツの振興、さらにはトップアスリートの育成へと繋がるものと考え。なかでも聖火リレーについては、オリンピックを身近に感じられる貴重な機会であり、聖火ランナーだけではなく、沿道でのボランティアスタッフ及び応援する人びとなど、多くの人の心に残るものとなり、本市のスポーツ振興へと繋がるものと考え。 （事業の内容） 出発式会場となるりんくうアイスパークをスタートし、ゴールとなる泉佐野駅前までの約 2.7km のコースを、聖火を引き継ぎながら聖火ランナーが市内を走り抜ける。出発式及び聖火リレーを安全・円滑に運営するため、出発式会場の設営及びゴールまでの聖火リレーコース沿道周辺の警備を含めた安全対策などを行う。
運用の成果	りんくうアイスパークは、1 日の出発地点となるため、聖火の出発を祝う「出発式」を行い、聖火皿に聖火が点火されたのち、第 1 走者のランナーのトーチに聖火が移されてリレーがスタートする。また、本市スポーツ大使の大山加奈さんによる司会、地元大阪を愛する「ET-KING」のみなさんによる演奏で会場を盛りあげる。 ※事業実施のために準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の延期が開催日直前に発表されたことに伴い、本市での聖火リレーも延期となった。
事業費	8, 560, 635円
運用した寄附金額	8, 560, 635円
担当部課	教育部 スポーツ推進課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	中学校施設整備事業（屋外照明）
運用事業の概要	（事業の目的） 市民の生涯スポーツの振興を目的として学校施設開放の拡大を図るため、全ての中学校グラウンドへの夜間照明の設置を行います。 （事業の内容） 市内各中学校グラウンドに屋外照明設備を設置します。
運用の成果	市民の生涯スポーツの振興を目的として、学校教育に支障のない範囲で教育施設の開放拡大を図るため、全ての中学校グラウンドへの夜間照明設備設置のため下記事業を行いました。 ○中学校屋外照明設備設置工事実施設計業務委託
事業費	9,462,200円
運用した寄附金額	9,009,000円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成３０年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	上之郷小学校プール整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な教育環境の整備を行います。 （事業の内容） 市内各小学校プールの整備を行います。
運用の成果	小学校児童の水泳技術の習得及び健康増進と体力の向上を図るとともに、災害時において飲料水を確保する避難場所としての役割を果たす目的としてプールの整備を行うための各種事業を行いました。 ○上之郷小学校プール整備工事地質調査業務委託 ○上之郷小学校プール整備工事実施設計業務委託
事業費	１７，８７８，９４６円
運用した寄附金額	１７，８７８，９４６円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	小学校空調整備事業（屋内運動場）
運用事業の概要	（事業の目的） 児童の熱中症対策等を行うとともに、地域住民の避難所としての環境改善を行います。 （事業の内容） 市内各小学校の屋内運動場に空調設備を設置します。
運用の成果	小学校の屋内運動場は、児童の学習活動及び健康増進、体力の向上を図る場だけではなく、災害発生時には地域住民の避難所としての役割を担います。令和元年度は日新小学校、北中小学校、大木小学校、上之郷小学校の計4校の屋内運動場に空調設備を設置するため各種事業を行いました。 ○日新・北中・大木・上之郷小学校屋内運動場空調設備整備工事 ○日新・北中・大木・上之郷小学校屋内運動場空調設備整備工事監理業務委託 
事業費	223,058,176円
運用した寄附金額	150,831,550円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	中学校空調整備事業（屋内運動場・武道場）
運用事業の概要	（事業の目的） 生徒の熱中症対策等を行うとともに、地域住民の避難所としての環境改善を行います。 （事業の内容） 市内各中学校の屋内運動場及び武道場に空調設備を設置します。
運用の成果	中学校の屋内運動場及び武道場は、生徒の学習活動及び健康増進、体力の向上を図る場だけではなく、災害時には地域住民の避難所としての役割を担います。令和元年度は第三中学校、長南中学校の計2校の屋内運動場及び武道場に空調設備を設置するため各種事業を行いました。 ○第三・長南中学校屋内運動場・武道場空調設備整備工事 ○第三・長南中学校屋内運動場・武道場空調設備整備工事 監理業務委託  
事業費	182,509,224円
運用した寄附金額	122,257,151円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	北中小学校プール整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な教育環境の整備を行います。 （事業の内容） 市内各小学校プールの整備を行います。 また、北中小学校では昇降機設備（エレベーター）の設置も併せて行います。
運用の成果	小学校児童の水泳技術の習得及び健康増進と体力の向上を図るとともに、災害時において飲料水を確保する避難場所としての役割を果たす目的としてプールの整備を行い、同時により安全で快適な教育施設の整備するため、また、災害時には障害者及び高齢者等に対して避難所として機能を高めるため昇降機設備の設置のための各種事業を行いました。 ○北中小学校プール整備・昇降機設備設置工事 ○北中小学校プール整備・昇降機設備設置工事監理業務委託  
事業費	245,196,074円
運用した寄附金額	100,388,074円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	長坂小学校プール整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な教育環境の整備を行います。 （事業の内容） 市内各小学校プールの整備を行います。
運用の成果	小学校児童の水泳技術の習得及び健康増進と体力の向上を図るとともに、災害時において飲料水を確保する避難場所としての役割を果たす目的としてプールの整備を行うための各種事業を行いました。 ○長坂小学校プール整備工事 ○長坂小学校プール整備工事監理業務委託  
事業費	241,143,725円
運用した寄附金額	127,932,725円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	第三小学校プール整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な教育環境の整備を行います。 （事業の内容） 市内各小学校プールの整備を行います。 また、第三小学校では昇降機設備（エレベーター）の設置も併せて行います。
運用の成果	小学校児童の水泳技術の習得及び健康増進と体力の向上を図るとともに、災害時において飲料水を確保する避難場所としての役割を果たす目的としてプールの整備を行い、同時により安全で快適な教育施設の整備をうるため、また、災害時には障害者及び高齢者等に対して避難所として機能を高める昇降機設備の設置のための各種事業を行いました。 ○第三小学校プール整備・昇降機設備設置工事 ○第三小学校プール整備・昇降機設備設置工事監理業務委託
事業費	123,185,508円
運用した寄附金額	56,316,508円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	大木小学校プール整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な教育環境の整備を行います。 （事業の内容） 市内各小学校プールの整備を行います。
運用の成果	小学校児童の水泳技術の習得及び健康増進と体力の向上を図るとともに、災害時において飲料水を確保する避難場所としての役割を果たす目的としてプールの整備を行うための各種事業を行いました。 ○大木小学校プール整備工事 ○大木小学校プール整備工事監理業務委託  
事業費	199,189,638円
運用した寄附金額	99,959,638円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	末広小学校プール整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な教育環境の整備を行います。 （事業の内容） 市内各小学校プールの整備を行います。
運用の成果	小学校児童の水泳技術の習得及び健康増進と体力の向上を図るとともに、災害時において飲料水を確保する避難場所としての役割を果たす目的としてプールの整備を行うための各種事業を行いました。 ○末広小学校プール整備工事地質調査業務委託 ○末広小学校プール整備工事実施設計業務委託
事業費	7, 213, 800円
運用した寄附金額	1, 913, 800円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫スポーツ振興プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	第三中学校プール整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な教育環境の整備を行います。 （事業の内容） 市内各中学校プールの整備を行います。
運用の成果	中学校生徒の水泳技術の習得及び健康増進と体力の向上を図るとともに、災害時において飲料水を確保する避難場所としての役割を果たす目的としてプールの整備を行うための各種事業を行いました。 ○第三中学校プール整備工事地質調査業務委託 ○第三中学校プール整備工事実施設計業務委託
事業費	11,677,440円
運用した寄附金額	2,977,440円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑫わがまちプロジェクト（自治振興基金）
運用事業の名称	防犯推進事業
運用事業の概要	（事業の目的） 地域の安全のため、防犯カメラの設置などの整備を進めます。 （事業の内容） ・防犯カメラの設置及び管理 ・町会・自治会に対して、防犯カメラ設置1台につき20万円を限度として、補助金を交付します。
運用の成果	平成30年度に引き続き、令和元年度も防犯カメラを新たに100ヶ所設置しました。また、補助金を活用して、町会・自治会の防犯カメラが11台新たに設置されました。今後も防犯カメラを増やして、安心安全なまちづくりを推進します。
事業費	6,657,716円
運用した寄附金額	2,200,000円
担当部課	市民協働部 自治振興課
基金所管部課	市民協働部 自治振興課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬メディカルプロジェクト（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	りんくう総合医療センター運営負担金事業
運用事業の概要	（事業の目的） りんくう総合医療センターにおいて安心して質の高い医療を提供できるように医療環境の充実を図ります （事業の内容） りんくう総合医療センターの医療機器等の整備及び維持管理を行いました
運用の成果	りんくう総合医療センター運営負担金 ○平成30年度分交付金額：414,293,000 円
事業費	414,293,000円
運用した寄附金額	414,293,000円
担当部課	市長公室 行財政管理課
基金所管課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬関空アイスアリーナプロジェクト（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	りんくう公園事業特別会計繰出金事業
運用事業の概要	（事業の目的） りんくうタウン地区において、スケートリンクを核とした、豊かな緑と賑わいあふれる公園的空間のまちづくりを行います （事業の内容） りんくう公園整備事業特別会計における事業費等への繰出金の支出
運用の成果	りんくう公園整備事業特別会計繰出金 ○平成30年度充当額：519,717,000円 ＜関空アイスアリーナ＞ ＜りんくうアイスパーク＞
事業費	519,717,000円
運用した寄附金額	519,717,000円
担当部課	市長公室 政策推進課
基金所管課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬未来を創る教育プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	泉佐野まなびんぐサポート事業
運用事業の概要	（事業の目的）子どもの学びの状況等に応じたきめ細やかな指導や支援を行うことにより、子ども一人ひとりの学力や学習意欲等の向上を図ることを目的とし、各学校の取り組みに対して人的支援を行う。 （事業の内容）小中学校の放課後学習の活性化を図るため、大学生、地域の方々、退職教員等の皆さんを有償ボランティアとして登録いただき、各学校で放課後に学習支援を行う。
運用の成果	◆放課後学習（まなびんぐサポート事業） ・各学校別実施回数 第一小 30回、第二小 32回、第三小 23回、 日新小 27回、北中小 22回、長坂小 24回、 日根野小 28回、大木小 27回、上之郷小 20回 長南小 138回、末広小 25回、佐野台小 25回 中央小 20回 小学校合計 441回 佐野中 34回、新池中 23回、第三中 41回 日根野中 22回、長南中 18回 中学校合計 138回
事業費	12,881,331円
運用した寄附金額	12,881,331円
担当部課	教育部 学校教育課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬未来を創る教育プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	泉佐野市の未来を創る教育事業
運用事業の概要	（事業の目的）子どもの未来を育む教育の推進につながる、様々な施策について計画し、実践していくための支援を行う。 （事業の内容）市内小中学校18校で行われる様々な特色のある活動について、財政的支援を行うとともに、泉佐野市学力向上プロジェクトチームで実施される施策により、セカンドステップや学級の教育力向上研究等を推進する事業を実施する。また、学力向上に課題のある学校に対して、様々な支援を実施するため校長OBを配置する。 「未来を紡ぐ 子どもの絆」プロジェクトとして、友好都市モンゴルトゥブ県及び福島県相馬市（被災地）を訪問する。
運用の成果	◆泉佐野市の未来を創る教育事業補助金 市内小中学校18校及び学力向上プロジェクトチームに補助 実施事業一覧 ・人権教育、地域交流、高齢者との交流・「話す力」「聞く力」の充実・漢字検定・花いっぱいプロジェクト・コミュニケーション力向上研修・キャリア教育研修・道徳教育の充実・自然を生かした体験活動、自立！自律！自分に気づき、未来をきずく・セカンドステップの実践・日本文化の理解、体力づくりの推進・そろばん学習・言語技術教育・清掃活動、ボランティア活動の推進・喫煙防止、障がい者理解のための体験学習、国際理解教育 ◆ジュニア防災検定 初級（小学校4年生に実施） ◆学力向上アドバイザー2名を小学校に配置 ◆「未来を紡ぐ 子どもの絆」プロジェクト ・モンゴル友好交流事業 市内中学生10名、教職員2名、教育委員1名、国際交流員1名、市職員2名の計16名を派遣 ・被災地訪問事業（福島県相馬市） 市内小中学生24名、教職員8名、教育委員1名、市職員2名の計35名を派遣
事業費	14,500,301円
運用した寄附金額	14,500,301円
担当部課	教育部 学校教育課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬未来を創る教育プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	中学校教育振興事業（クラブ補助委託）
運用事業の概要	（事業の目的）市内中学校5校の課外クラブ活動を委託することにより、課外クラブ活動を通じて、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てることを目的とする。 （事業の内容）市内中学校における課外クラブ活動を推進するための助成を行う。
運用の成果	◆中学校課外クラブ振興委託料 中学校5校 72 クラブ 1853 名対象 【内訳】 佐野中学校 513 名 陸上、サッカー、柔道、卓球、男子テニス、女子テニス、野球、バトミントン、バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、ソフトボール、美術、吹奏楽、演劇、パソコン、手芸 新池中学校 399 名 陸上、サッカー、剣道、卓球、男子テニス、女子テニス、野球、バトミントン、バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、美術、吹奏楽、科学、コーラス 第三中学校 352 名 陸上、サッカー、剣道、卓球、テニス、野球、バトミントン、バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、ソフトボール、美術、吹奏楽、科学、華道 日根野中学校 401 名 陸上、サッカー、剣道、テニス、野球、バトミントン、バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、ソフトボール、美術、華道、コーラス、英語、書道 長南中学校 188 名 陸上、サッカー、テニス、野球、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、美術、華道、人権問題研究
事業費	3,091,920円
運用した寄附金額	3,091,920円
担当部課	教育部 学校教育課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬未来を創る教育プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	中学校教育振興事業（クラブ指導員）
運用事業の概要	（事業の目的）国の「働き方改革」の一環としての、教職員の部活動指導に係る負担軽減及び部活動指導内容の充実等を目的とする。 （事業の内容）中学校において、適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を進めるために、部活動指導員を配置する取組み。
運用の成果	◆中学校部活動指導員 中学校5校 計 11 クラブ 12 名配置 【内訳】 佐野中学校 3 クラブ 4 名配置 卓球、バドミントン、吹奏楽 新池中学校 1 クラブ 1 名配置 男子バスケットボール 第三中学校 3 クラブ 3 名配置 バドミントン、剣道、華道 日根野中学校 2 クラブ 2 名配置 バドミントン、華道 長南中学校 2 クラブ 2 名配置 バスケットボール、バレーボール
事業費	1, 517, 580円
運用した寄附金額	1, 517, 580円
担当部課	教育部 学校教育課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬未来を創る教育プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	学校行事事業（小学校スクールバス）
運用事業の概要	（事業の目的） ・羽倉崎地区の児童は通学が遠距離となることから、羽倉崎駅から南海電車を利用している児童が多く、通学の負担を軽減するための支援を目的とする。 ・路線バスを利用している大木小学校の児童に対し、通学の負担を軽減するための支援を目的とする。 （事業の内容） 羽倉崎地区から第一小学校へ通う児童及び既存の路線バスを利用し大木小学校へ通う児童に対し、マイクロバスを借上げ通学の支援を行うものとする。
運用の成果	◆令和元年度の実施結果は、次のとおりです。 第一小学校への運行日数 189日（登校時 2便、下校時 2便） 大木小学校への運行日数 193日（登校時 1便、下校時 1便） ◆この結果、羽倉崎地区の第一小学校通う児童及び路線バスを利用し大木小学校へ通う児童に対し、通学の支援を行えた。
事業費	13,863,803円
運用した寄附金額	13,863,803円
担当部課	教育部 学校教育課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬未来を創る教育プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	事務局運営事業費（35人学級・任期付フル11人）
運用事業の概要	（事業の目的） 教員が一人ひとりの子どもに向き合う時間を増やし、個別の課題により、きめ細かく対応できることをめざす。 （事業の内容） 小中学校の一学級の児童生徒数は、国の学級編成基準により、小学校1年生は35人以下、それ以外は40人以下と定められ、大阪府の独自施策により2年生についても35人以下とされている。 そのような中、市の独自施策として、小学校3～6年生においても、学級定員が35人以下となるよう、市単費で教職員の配置を行う。
運用の成果	●前年度の2月1日現在、学年の平均児童数が36～40人と見込まれる学年（8校、10学年）に任期付教職員11名を配置した。 ●この結果、教員が児童一人ひとりに関わる時間が増え、学習面や生活面において、きめ細かな指導ができた。 ●引き続き、小学校全学年における35人学級を維持していく。
事業費	43,497,003円
運用した寄附金額	43,497,003円
担当部課	教育部 教育教育課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬未来を創る教育プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	中学校管理運営事業（生徒用可動式机椅子）
運用事業の概要	（事業の目的） 生徒に、より良い教育環境を提供する。 （事業の内容） 老朽化した生徒用の机椅子を、従来の固定式から高さ調整が可能な可動式で、机の天板が縦横5cmずつ大きい、新JIS規格適合のものに順次更新する。
運用の成果	●下記のとおり、机椅子の整備を実施した。 ・佐野中 690セット ・第三中 504セット ※予備 4セット ●成長著しい生徒の体格に合わせることが可能で、学習教材の大型化へ対応した机椅子に更新することで、教育環境の改善が図られた。 ●引き続き、未整備の中学校2校についても順次更新を行っていく。 
事業費	13,844,088円
運用した寄附金額	13,844,088円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬未来を創る教育プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	末広小学校昇降機整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 障害のある児童のより安全で快適な教育環境を整備し、災害時には障害者及び高齢者等に対して避難所として機能を高めるため整備を行います。 （事業の内容） 昇降機設備（エレベーター）の設置を行います。
運用の成果	小学校児童のより安全で快適な教育施設としての整備・充実と地域コミュニティの拠点及び災害時における避難所としての役割を果たすことを目的として、昇降機設備の設置のため各種事業を行いました。 ○末広小学校昇降機設備設置工事 ○末広小学校昇降機設備設置工事監理業務委託  
事業費	115,934,014円
運用した寄附金額	90,837,014円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬未来を創る教育プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	長南中学校昇降機整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 障害のある生徒のより安全で快適な教育環境を整備し、災害時には障害者及び高齢者等に対して避難所として機能を高めるため整備を行います。 （事業の内容） 昇降機設備（エレベーター）の設置を行います。
運用の成果	中学校生徒のより安全で快適な教育施設としての整備・充実と地域コミュニティの拠点及び災害時における避難所としての役割を果たすことを目的として、昇降機設備の設置のため各種事業を行いました。 ○長南中学校昇降機設備設置工事 ○長南中学校昇降機設備設置工事監理業務委託  
事業費	74,682,472円
運用した寄附金額	61,085,472円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬未来を創る教育プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	佐野中学校昇降機整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 障害のある生徒のより安全で快適な教育環境を整備し、災害時には障害者及び高齢者等に対して避難所として機能を高めるため整備を行います。 （事業の内容） 昇降機設備（エレベーター）の設置を行います。
運用の成果	中学校生徒のより安全で快適な教育施設としての整備・充実と地域コミュニティの拠点及び災害時における避難所としての役割を果たすことを目的として、昇降機設備の設置のため各種事業を行いました。 ○佐野中学校昇降機設備設置工事 ○佐野中学校昇降機設備設置工事監理業務委託  
事業費	45,715,480円
運用した寄附金額	32,118,480円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑬未来を創る教育プロジェクト（教育振興基金）
運用事業の名称	長南小学校整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 障害のある児童のより安全で快適な教育環境を整備し、災害時には障害者及び高齢者等に対して避難所として機能を高めるため整備を行います。 （事業の内容） 昇降機設備（エレベーター）及び校舎間の渡り廊下を設置します。
運用の成果	小学校児童のより安全で快適な教育施設としての整備・充実と地域コミュニティの拠点及び災害時における避難所としての役割を果たすことを目的として、昇降機設備及び校舎間の渡り廊下の設置のため各種事業を行いました。 ○長南小学校昇降機設備・渡り廊下設置工事 ○長南小学校昇降機設備・渡り廊下設置工事監理業務委託  
事業費	109,455,620円
運用した寄附金額	91,162,120円
担当部課	教育部 教育総務課
基金所管部課	教育部 教育総務課

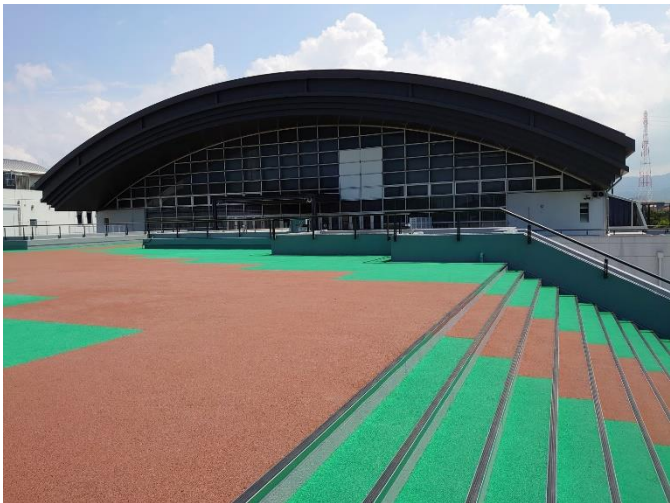
平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	総合文化センター整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います
運用の成果	施設を安心して快適に利用いただけるよう、総合文化センターの自動火災報知設備、高圧進相コンデンサ設備の更新を行いました。 ○総合文化センター自動火災報知設備更新 ○高圧進相コンデンサ設備更新  <総合文化センター自動火災報知設備>
事業費	26,260,000円
運用した寄附金額	26,260,000円
担当部課	市長公室 政策推進課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	長南公民館整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います
運用の成果	利便性向上と災害時の避難所としての機能性の向上を図り、より多くの市民に利用いただくために第2駐車場の整備のための事業を行いました。 ○長南公民館駐車場拡張用地取得に係る土地鑑定業務委託 ○長南公民館駐車場拡張用地買収
事業費	6,467,000円
運用した寄附金額	6,467,000円
担当部課	教育部 生涯学習課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	総合体育館整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います
運用の成果	施設の老朽化による雨漏りや漏水事故を防止し、今後も快適に施設を利用していただくために、市民総合体育館の防水改修工事等を行いました。 ○市民総合体育館防水工事 ほか  <市民総合体育館>
事業費	82,800,000円
運用した寄附金額	82,800,000円
担当部課	教育部 スポーツ推進課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	上之郷コミュニティセンター整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います
運用の成果	市内上之郷地区において、周辺に点在する集会所、消防団車庫などを集約、防災倉庫を設置することにより地域住民の活動拠点、防災拠点となる上之郷コミュニティセンター整備のための事業を行いました。 上之郷コミュニティセンター ○令和2年2月 竣工 ○令和2年4月 共用開始  ＜上之郷コミュニティセンター＞
事業費	453,431,000円
運用した寄附金額	52,231,000円
担当部課	市民協働部 自治振興課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	北部市民交流センター整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	施設を安心して快適に利用いただけるよう、北部市民交流センター放送設備の更新工事等を行いました。  ＜北部市民交流センター放送設備＞
事業費	1,966,000円
運用した寄附金額	1,966,000円
担当部課	市民協働部 人権推進課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	南部市民交流センター整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	施設を安心して快適に利用いただけるよう、南部市民交流センター青少年広場のフェンスの改修工事等を行いました。  <南部市民交流センター青少年広場フェンス>
事業費	9,306,000円
運用した寄附金額	9,306,000円
担当部課	市民協働部 人権推進課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	鉄道駅舎において、障害のある方などの円滑な移動確保のため、バリアフリー化に係る整備を行う施設管理者に対し、整備費の一部を補助 補助金額123,972,000円 （補助先：南海電気鉄道株） 南海井原里駅下りホーム ○駅舎本体工事、水路改修工事等  ＜南海井原の里駅舎＞
事業費	123,972,000円
運用した寄附金額	123,972,000円
担当部課	都市整備部 都市計画課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	鉄道施設安全対策補助事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	鉄道利用者の安全確保及び災害時の緊急応急活動機能を確認するため、鉄道施設の補強整備を行う施設管理者に対し、整備費の一部を補助 補助金額 14,753,000円 （補助先：南海電気鉄道(株)、新関西国際空港(株)） 〇りんくうタウン駅～関西空港駅間の橋脚補強工事（落橋防止工事）、及び浸水対策工事  ＜橋脚補強・落橋防止工事＞
事業費	14,753,000円
運用した寄附金額	14,753,000円
担当部課	都市整備部 道路公園課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	日根野公民館整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	令和元年度オープンの日根野公民館・プールの利便性向上を図り、より多くの市民に利用いただくために第2駐車場の整備を行いました。 日根野公民館・プール第2駐車場 ○令和元年6月 竣工 ○令和元年7月 共用開始  <日根野公民館・プール第2駐車場>
事業費	10,537,000円
運用した寄附金額	10,537,000円
担当部課	教育部 生涯学習課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	末広公園整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	市の総合公園である末広公園をより快適で安全に利用いただくために、グラウンドナイター照明設備の更新や公園全体の改修整備のための事業を行いました。 ○グラウンドナイター照明設備更新工事 ○末広公園改修測量設計業務委託 ○末広公園駐車場拡張用地買収 ほか  ＜グラウンドナイター照明設備＞
事業費	191,995,000円
運用した寄附金額	174,195,000円
担当部課	都市整備部 道路公園課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	消防施設整備事業（消防団）
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	土砂災害警戒区域に指定されている大木地区において、地域防災力を強化するため、非常食や毛布などを備蓄する防災倉庫と消防団車庫も兼ね備えた消防団大土分団大木車庫の整備等を行いました。 消防団大土分団大木車庫 ○令和2年3月 竣工 ○令和2年4月 供用開始  ＜消防団大土分団大木車庫＞
事業費	84,343,000円
運用した寄附金額	743,000円
担当部課	市民協働部 自治振興課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

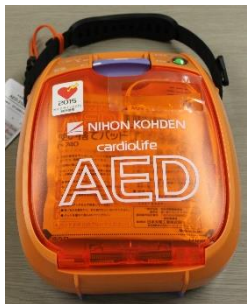
平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	消防団車両購入事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	消防団活動の強化を図るため、台風・大雨などの水防活動時の資機材搬送車を購入しました。 ○資機材搬送車 2台  <資機材搬送車>
事業費	2,487,000円
運用した寄附金額	2,487,000円
担当部課	市民協働部 自治振興課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	避難所防災倉庫整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	災害時に備え、指定避難所における生活環境を確保するため、防災資機材を格納するための備蓄用倉庫を市内31カ所の各指定避難所へ順次設置して行きます ○令和元年度の設置状況 1箇所設置（累計31箇所） ○資機材等備蓄品の購入（段ボールベッド、発電機） ＜防災備蓄倉庫＞
事業費	8,133,000円
運用した寄附金額	8,133,000円
担当部課	市民協働部 自治振興課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	消防機材整備事業（消防団）
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	消防団員の安全確保の装備や情報伝達が可能な救助活動用資機材の整備を行いました。 〇AED、エンジンカッター、発電機、夜間活動器具等一式  <AED>  <エンジンカッター>  <発電機>  <投光器>
事業費	4,240,000円
運用した寄附金額	2,202,000円
担当部課	市民協働部 自治振興課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	コミュニティバス事業
運用事業の概要	（事業の目的） 地域の交通の利便性を図り、高齢者等の交通弱者の交通手段の確保、公共施設の利用促進を目的としてコミュニティバスの運行を行います。 （事業の内容） 市内主要公共施設・駅などを結ぶ3ルートで運行。平成27年10月からは無料運行を実施。令和元年度も引き続き無料運行を行いました。
運用の成果	市内3ルート（北回り、中回り、南回り）の無料運行を実施しました。 ○運行便数 月曜日から金曜日 各8便 土曜日 各4便 ○年間利用者数 延べ155,420人  <いずみさのコミュニティバス>
事業費	55,469,000円
運用した寄附金額	55,469,000円
担当部課	都市整備部 道路公園課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備基金）
運用事業の名称	農林水産関連整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	農林水産業に関連する施設の整備等を行いました。 ○市単独土地改良事業 ○団体営農村総合整備事業 ○府営ため池等整備事業 ほか
事業費	97,603,000円
運用した寄附金額	82,497,000円
担当部課	生活産業部 農林水産課 ほか
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	道路・公園・河川等整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	道路・公園・河川に関連する施設の整備等を行いました。 ○橋りょう整備事業 ○羽倉崎新安松線整備事業 ○かわまちづくり事業 ○河川下排水路改良事業 ○泉佐野土丸線整備事業 ○浸水対策ポンプ設置事業 ほか
事業費	883,088,000円
運用した寄附金額	171,388,000円
担当部課	都市整備部 道路公園課 ほか
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	市営住宅整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	老朽化した市営住宅の整備等を行いました。 ○市営住宅整備事業（単独） ○市営住宅集約化事業 ○鶴原団地住宅（1～5棟）建替事業 ほか
事業費	244,252,000円
運用した寄附金額	69,249,000円
担当部課	都市整備部 建築住宅課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備等基金）
運用事業の名称	その他公共施設・設備等整備事業
運用事業の概要	（事業の目的） 良好な公共施設等の整備を行います。 （事業の内容） 施設・設備の整備、老朽化した施設の再整備等を行います。
運用の成果	その他の公共施設・設備の整備等を行いました。 ○庁舎等整備事業 ○町会館等整備事業 ○集中管理車両購入事業 ほか
事業費	133,022,000円
運用した寄附金額	37,033,000円
担当部課	総務部 総務課 ほか
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	⑭市長におまかせ（公共施設整備基金）
運用事業の名称	住宅総合助成事業
運用事業の概要	（事業の目的） 平成30年度の台風第21号により被災した市民等の経済的負担の軽減を図ることを目的に市独自施策として助成事業を行います。 （事業の内容） 被害を受けた市内の戸建て住宅等の改修や除却に要した経費の一部について住宅改修支援金または住宅除去補助金を交付。
運用の成果	○令和元年度 交付件数、交付金額 ・住宅改修支援金・・・3,453件、314,645,000円 ・住宅除去補助金・・・58件、57,526,000円
事業費	372,171,000円
運用した寄附金額	372,171,000円
担当部課	都市整備部 都市計画課
基金所管部課	市長公室 行財政管理課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	ウガンダ共和国支援
運用事業の名称	産業支援寄付金
運用事業の概要	（事業の目的） ウガンダ共和国・グル市の綿産業の振興及び綿花栽培に従事する者の収入向上に寄与するため。 （事業の内容） ウガンダ共和国現地地域のマラリア予防対策のための蚊帳、オーガニック農場の開墾に必要な牛引き機などの購入費用として寄付する。
運用の成果	ウガンダ共和国グル市における農民の所得向上等、開発援助を通じて、国家間の安全保障等へ貢献した。
事業費	140,000円
運用した寄附金額	140,000円
担当部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	GCF 地域と空き家の価値を再創生 泉佐野×ゲストハウス「さのさん家を作ろう!」
運用事業の名称	起業家支援プロジェクト補助金
運用事業の概要	(事業の目的) 本事業を通じて、遊休不動産・空き家の活用、外国人旅行客の宿泊場所確保、泉佐野の秘める観光資源の利活用、通過駅からの脱却、雇用創出といった社会課題の解決を目指す。 (事業の内容) 主に FIT をターゲットに、遊休不動産・空き家を活用した滞在型民泊施設“さのさん家”を整備。 宿泊者向けに、近隣店舗紹介、各種体験を整備し、市内への滞在を促す。 遊休不動産・空き家を新たな価値を生み出す形へ、近隣住民、店舗、企業と連携して作り上げ、仕組みとすることで、地域に根差した社会課題解決型の事業を目指す。
運用の成果	1. 滞在型民泊“さのさん家”の整備 GCF 対象物件として、“和楽”、“蔵”、“田”の3件を整備。 さらに上記をきっかけに、自社所有、賃貸、運営代行を合わせて、泉佐野市内に8棟、市外に4棟の計12棟の“さのさん家”を整備。 2. 店舗ご紹介、体験の整備 物件毎に近隣店舗の紹介資料を整備。紹介先は順次拡大中。 さらに、キャンピングカーのレンタカー事業を開始し、奈良・和歌山・紀伊半島など、泉佐野市に滞在しつつ、関空を起点として近隣への送客を実現。 3. その他 地域団体等との連携を考慮し、起業を志す地元出身者にチャレンジの“場所”と“機会”として“さのさん家”を提供し、さらなる拡がりを支援。
事業費	10,000,000円
運用した寄附金額	5,000,000円
担当部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定 の用途	GCF 世界初の「裏表のない」スマート肌着～肌着革命で泉州繊維産業を復興～
運用事業の名称	起業家支援プロジェクト補助金
運用事業の概要	（事業の目的） 泉州の繊維産業の活性化のための一つのアイデアとして始まった、肌着を中心とするブランドの確立が目的。 （事業の内容） 裏表や前後のないアンダーウェアブランド『HONESTIES（オネスティーズ）』で世界初の利便性と機能性を高めたスマート肌着の開発及びブランド化、海外展開を目指す。 育児と仕事の両立で忙しい子育て世代などで忙しい現代人にシンプルで豊かなライフスタイルを提案。また、介護や医療、ハンディキャップを持つ方々の社会進出を助けるユニバーサルデザインとしての肌着としても非常に高評価で、各ハンディキャップに応じたカスタマイズも可能な商品開発をすすめる。
運用の成果	1. 事業コンセプト 裏表のないアンダーウェアで、忙しい現代人にシンプルで豊かなライフスタイルを提案し、泉州地域の新しいブランドとして国内外での需要拡大に取り組む。また、裏表に加え、裏表・前後もない肌着を開発し、ユニバーサルデザインとしての肌着を展開。 2. 商品ラインナップ 肌着だけでなく、靴下やパンツ、タオル、外出用のＴシャツ、タイツやスエットなど、「ルームウェア」と言われる自宅を中心に必要な衣服に展開。 3. 国内市場 ・簡単にセット購入できる通販システムで展開 ・SNSを中心に新しいライフスタイルの提案などバズ・マーケティングを実施 ・主要百貨店等でポップアップショップを展開し、認知度アップを図る 4. 海外販売 ・各国のトレンドに合わせた商品を開発し、通販で展開 ・デザイナーやブランドとのコラボ商品で展開 ・関西空港等の施設で地域のオリジナル商品としてインバウンド向けにも展開
事業費	30,000,000円
運用した寄附金額	30,000,000円
担当部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	GCF 繋グランピング～地域資源がつながる場～
運用事業の名称	起業家支援プロジェクト補助金
運用事業の概要	（事業の目的） 本事業を通して、泉佐野の地場産品を活用したグランピングを実施し、地域の資源をつないでいくだけでなく、このまちの活性化につなげることを目指す。 （事業の内容） 移動式グランピングという新感覚なスタイルで、海や山、川などお気に入りの場所でグランピングが体験でき、また、家族や気のしれた仲間との触れ合いの場の提供。
運用の成果	1. 新感覚グランピング MOVE!の整備 現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もありますが、グランピングプランに関しての問い合わせは増加しております。7月からはリーチ数も上昇しており、時期的にシーズンということもあり、約30件の問い合わせもあります。7月末から現在までで5組のお客様にご体験いただきました。 2. アクセス数など 1ヶ月間で4.68万の検索があり、ホームページへのアクセスも2,417件となっております。現在は家族連れのお客様や大学生などにご体験いただいております。 3. その他 少人数制、移動式のグランピングスタイルのため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けにくい事業であると考えておりますが、キャンセルとなるケースもございます。まだまだ知名度の低いサービスではありますが、体験者様からは「また体験したい!」、「スタッフの方が親切でまた遊びたい」とのお声を頂き、満足いただいているサービスとなっております。
事業費	9,728,000円
運用した寄附金額	4,864,000円
担当部課	生活産業部 まちの活性課

平成30年度泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	代理寄附
運用事業の名称	平成30年7月豪雨 高知県宿毛市に対する代理寄附受付による支援
運用事業の概要	(事業の目的) 平成30年7月豪雨災害により甚大な被害を受けられた自治体に代わり、本市が代理でふるさと納税の支援を受け、被災地に寄附者の皆様からの支援を届けます。 (事業の内容) 特産品相互取扱協定先自治体である高知県宿毛市に対する代理寄附受付による支援
運用の成果	泉佐野市では、平成30年7月豪雨災害により甚大な被害を受けられた特産品相互取扱協定先自治体である高知県宿毛市の皆様に支援するため、「ふるさと納税」の寄附受付の事務代行を平成30年7月11日(水)から9月13日(木)の間実施し、多数のご支援を頂きました。 寄附金額 2,270,000円 寄附件数 156件 寄附者一人ひとりの被災地に寄り添う心を届けるべく、平成30年10月10日(水)に高知県宿毛市を泉佐野市長が訪問し、皆様から寄せられた寄附金を直接、中平宿毛市長へ届けました。 
事業費	2,270,000円
運用した寄附金額	2,270,000円
担当部課	市長公室 政策推進課



市 野 佐 泉